

クラス番号	632	担当教員名	野口 定久
テーマ	これからの地域福祉ー地域生活保障とソーシャルワーク支援		
著書・論文 研究課題等	<p>著書：野口定久・外山義・武川正吾『居住福祉学』（有斐閣，2011）／『対論 社会福祉学 第3巻 社会福祉運営』（中央法規出版，2012）／『地域福祉論ー政策・実践・技術の体系』（ミネルヴァ書房，2008）／『自治体の地域福祉戦略』（学陽書房，2007）／福祉社会開発の展望ー個別福祉問題の解決とセーフティネットの再構築」後藤澄江・小松理佐子・野口定久編著『家族・コミュニティの変貌と福祉社会の開発』（中央法規，2011）／野口定久・原田正樹編『地域福祉の理論と方法』，へるす出版，2009. /「グローバリゼーション時代の地域福祉」市川一宏・大橋謙策・牧里毎治編『地域福祉の理論と方法』（全309頁），ミネルヴァ書房，2012年1月</p> <p>研究課題：地域福祉計画と地域包括ケアシステム、東アジア社会保障・社会福祉比較研究</p>		

## ゼミナール概要

キーワード：地域福祉、過疎地の再生、居住福祉、地域包括ケアシステム、コミュニティ・ソーシャルワーク

**【目的、内容、方法等】**：日本社会では、超高齢・少子化・人口減少社会、雇用情勢の悪化などによる貧困と格差の拡大、社会的排除、地方の衰退、家族・地域社会の変容、大災害等による新しい福祉問題が噴出している。地方自治体の財政危機、医療・年金制度や福祉制度の綻び等政策環境の変化の中で、現代の福祉問題の多くがローカリティで生起する諸問題の解決の「場」としての地域コミュニティ、そしてその問題解決のための地域福祉の理論と実践に熱い期待が向けられています。私のゼミナールでは、こうした現地や現場の声に応えるために現地調査や実地研究に基づいて、ある一定の自治体や住民の暮らしに入り込んで、「安全で安心して住み続けることのできる福祉コミュニティの創出」を探求してみたいと思います。現在の3年生は、三重県桑名市及び愛知県岩倉市で、市民主体の地域福祉計画の推進活動にかかわりながら、地域包括ケアシステムの実現に向けて専門職、地域福祉協力者（民生委員、NPO等）、自治会・近隣住民のネットワークづくりを試みております。その過程で、公助・共助・互助・自助の新たな枠組みを模索します。私のゼミでは、毎年4年の10月末日までに調査研究報告書（ゼミ卒業論文）をまとめます。ゼミ活動では、実際にある地域を設定して現場主義の調査活動、地域福祉計画や地域包括ケアの実地研究（フィールドワーク）を行います。2年間のゼミ活動を通じて、現場で通用する地域福祉実践や政策・まちづくり、個々人の地域生活支援に役立つコミュニティ・ソーシャルワークの理論と手法を習得してもらいます。ゼミ生の地域福祉型実習の指導も行いたいと思います。

**【ゼミの学習計画】**：ゼミ運営の年次計画としては、3年次の前期にテキストを中心に上記の研究課題の背景や今日の地域福祉の動向と体系を概観します。そして前期の学習成果をふまえ、後期には、ゼミで取り組む調査研究課題および調査地（フィールド）を選定して、実際に調査の項目等を設計し、ヒアリング調査法等を用いて調査を実施します。そして調査結果の報告書作成に取り掛かります。4年次後期の10月末日までにゼミ論を作成します。そして卒論作成後は、社会福祉士国家試験に集中的に取り組んでもらいます。ゼミの中で、「このとおりやれば、必ず受かる」国試の秘策を伝授します。

**【ゼミ生の進路・就職】**：私のゼミには、就職や進路希望との関連で選択してください。大学院への進学希望者も積極的に受け入れます。最近のゼミ生の就職先は、地方自治体や社会福祉協議会、病院や施設のソーシャルワーカー、地域包括支援センター、福祉関連の民間企業等です。

## 当教員からのメッセージ



私のゼミでは、先輩からも聞いているように、ゼミ運営上の必要に応じて、合宿（主に岐阜飛騨の家を使用します）、コンパ、スキー合宿、実地研究ツアー等を実施いたします。大いに遊び、大いに学び、大いに飲みましょう。（飲めない人には強要いたしません。ただし、飲めない人もコンパには参加しましょう。）フィールドワークを通じて、現場から学び、ゼミの仲間づくりを大切にし、生涯の友達をつくりましょう。現場主義を貫くために、何よりも体力と好奇心、そして協調性が必要です。ゼミ希望者は、エントリーシート（ゼミへの質問・要望欄）の中で大いに自己アピールをして下さい。私の趣味は、阪神タイガースです。ゼミの歌は、「六甲おろし」です。一緒に応援しましょう。来年の卒業旅行（3月）は、沖縄で藤波君と大谷君を激励するキャンプめぐりを敢行いたします。互助互愛、これがわがゼミのモットーです。